

ANIWAがつなぐ より良い獣医療

全国どこでも、安心できる
獣医療を安定して提供するために



ANIWAの輪（わ）を形成し、 安心できる獣医療を安定して受けられる世の中を作る

獣医師は、ヒト以外の全動物を診療し、外科・内科・診断学など幅広い分野に精通することが求められます。
さらに獣医療の進化に合わせて自己研鑽を続けるだけでなく、人材の確保・教育、経営の安定にも対応しなければならず、
個々の病院が安心できる獣医療を安定的に提供することは困難な状況です。
志ある獣医師がチームとして一つの輪を形成し、これらの課題を互いに手を取り合い解決することを目的に、
ANIWAは設立されました。

5つの柱



知識・技術の共有



情報の集積・研究・発表



人材の育成・確保・流動



医療機器の共有・支援



経営・マネジメントの支援

ANIWAの輪（わ）を支える5つの柱



5つの柱で輪を支え、全国どこでも
“安心できる獣医療”の提供を実現します。

- 01 知識・技術の共有
- 02 情報の集積・研究・発表
- 03 人材の育成・確保・流動
- 04 医療機器の共有・支援
- 05 経営・マネジメントの支援





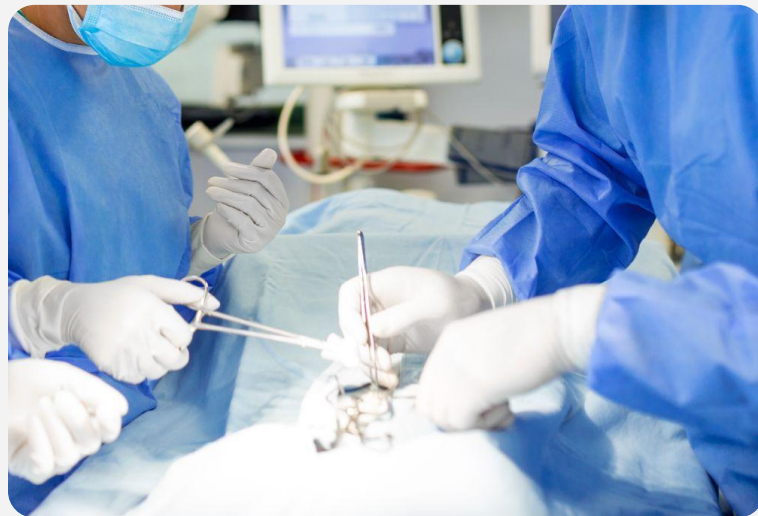
01 知識・技術の共有



**ANIWAの参加獣医師が連携し、
専門技術を共有することで、
治療の幅を広げます。**

獣医療では、循環器内科から整形外科まで、幅広い診療技術が求められます。しかし、すべての分野を1つの病院で網羅することは難しく、他府県への紹介や治療を断念せざるを得ないこともあります。

ANIWAでは、獣医師が互いに得意分野の治療技術を共有し、手術執刀の依頼などを通じて協力することで、地域の医療格差をなくし、どの病院でも安定した獣医療を提供できる仕組みをつくります。



獣医師同士が団結し、動物たちにより良い獣医療を届けます。



02 情報の集積・研究・発表



診療データを統合し、 研究・発表を通じて 獣医療の発展に貢献する。



日々の診療データを蓄積・分析し、治療法を学会発表や論文として発信します。現状課題として多くの獣医師は個人で論文執筆を行う時間やノウハウが不足していることがあげられます。ANIWAでは、参加病院が一丸となってデータを収集し、治療成績の比較などを可能にします。また、論文執筆のサポートを行い、各院の治療法や症例報告を発信し、獣医療の発展と、人材確保の安定化に貢献します。



研究を積み重ね、より確かな獣医療を実現します。



03 人材の育成・確保・流動



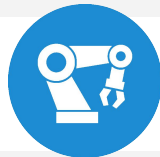
ANIWAが人材と参加病院の 架け橋となり、キャリア形成の ニーズと人材不足を解決する。

人材の確保と育成は、安定した獣医療の提供に欠かせません。獣医療業界では、高い治療・学術レベルを持つ病院への就職希望者が多く、教育環境の充実が人材確保の重要な要素となります。

ANIWAでは、病院同士が連携し、高水準の医療環境でキャリアを築ける仕組みを整えます。また、セミナーや教育プログラムを実施し、新卒獣医師の育成を支援。転職時にはANIWA参加病院間での人材の流動を促し、安定した人材確保を目指します。



育成と流動の仕組みをつくり、獣医療の基礎を固めます。



04 医療機器の共有・支援



ANIWAの収益を活用し、 医療機器・施設を提供することで 獣医療の発展を支える。

ANIWAでは、収益を活用して医療機器を購入し、参加病院へ提供しています。高度医療機器（CTなど）を地域単位で整備し、どの病院でも安心して高度な治療を受けられる環境を目指します。さらに、中長期的にはダヴィンチ（遠隔ロボット手術機器）などの先端技術を導入した治療・技術研修施設を設立。この施設はANIWAの収益で運営されるため、収益化を目的とせず、獣医療の発展に専念できます。その成果は動物へ還元され、持続的な循環（輪）を生み出します。



医療機器の共有と施設の整備を通じて、獣医療の未来を支えます。



05 経営・マネジメントの支援



売上至上主義を排し、 獣医療の本質を追求した 経営を支援します。

安定した獣医療の提供には、安定した収支と適切なマネジメントが不可欠です。医療の本質は病気を減らし、患者の負担を軽減することですが、現状では収益を優先した経営が問題に。ANIWAでは、売上至上主義と決別し、無駄なコスト削減や治療の幅を広げることで新たな収益を確保。薬剤の一括管理や人材・設備のシェアを活用し、「規模の経済」を実現。動物の医療費負担を抑えつつ、獣医師が純粋に医療に集中できる環境を整えます。



持続可能な経営で、誠実な獣医療を提供します。



ANIWA

ANIWAの輪（わ）を5つの柱で支えることで、
全国どこでも安心できる獣医療の提供を実現します。

獣医師がつながり、支え合うことで、より良い獣医療の未来へ。